

平成 28 年 1 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブイキューブ  
代 表 者 名 代表取締役社長 間下 直晃  
(コード番号：3681 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役 C F O 大川 成儀  
(TEL. 03-5768-3111)

### 子会社における業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社システム・テクノロジー・アイは、平成 27 年 11 月 9 日公表の平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績予想を、別添の通り、修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

※添付資料：株式会社システム・テクノロジー・アイ開示資料  
「業績予想の修正に関するお知らせ」

以 上



平成28年1月19日

各位

株式会社システム・テクノロジー・アイ  
 代表取締役社長 松岡 秀紀  
 (証券コード:2345) 東証第二部  
 東京都中央区築地一丁目13番14号  
 (お問い合わせ先) 執行役員管理本部長 内山 富士子  
 電話 03-5148-0400

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成27年11月9日に公表した平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成28年3月期業績予想数値の修正

平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

|                         | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
|                         | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)               | 620   | 22   | 15   | 129   | 97.19          |
| 今回修正予想(B)               | 480   | △34  | △42  | 80    | 60.33          |
| 増減額(B-A)                | △140  | △57  | △58  | △49   |                |
| 増減率(%)                  | △22.7 | —    | —    | △37.9 |                |
| (ご参考)前期実績<br>(平成27年3月期) | 542   | △52  | △56  | △56   | △42.30         |

#### 2. 修正の理由

第2四半期より販売開始した画面共有ソリューション「iStudy Solstice」関連サービスについて、下期以降の売上高増加のために、当サービスの認知度向上のための製品紹介セミナーの実施や販売パートナー向けトレーニングの実施等、活動を推進してきたことにより、お客様からの反響は増加してきております。しかしながら、受注成約までのリードタイムが想定より長く、当サービスの売上高が計画を大きく下回っていることにより通期の売上高は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益、当期純利益は、上記の通り、売上高が前回発表予想を下回ることにより、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当社は、平成27年12月15日をもって、株式会社ブイキューブの連結子会社となり、そのグループ会社となって事業を行うことにより、相互に連携をとりながら製品やサービスの融合を図り、当社の企業価値の向上及び売上利益の拡大を目指しております。平成28年1月からは、経営体制を刷新し経営体制の強化を行うとともに、親会社である

株式会社ブイキューブ及びそのグループ会社より人材支援を受け、相互連携を図っていくための当社の組織体制を再構築し、成長分野の早期立ち上げを実現するための準備を最優先で進めております。

なお、現在、ブイキューブグループでのシナジー効果を最大限に発揮するための成長戦略及び事業展開を含む中期計画を策定中であり、平成28年1月29日公表予定の平成28年3月期第3四半期決算短信と同時に公表予定でありますので、併せてお知らせいたします。

以上

本資料に記載されている現在の計画・見通しなどのうち、既に確定した事実でないものは将来に関する見通しであり、これらは発表日現在に入手可能な各種データに基づいて作成されたものであります。従って、実際の業績は様々な不確定要素が内在しており、上記の見通しとは大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。